

「平成17年度原子爆弾被爆者実態調査」
解析等

厚生労働省

はじめに

平成17年度原子爆弾被爆者実態調査は、昭和20年8月広島・長崎に投下された原子爆弾による被爆者の生活、健康等の現状を総合的に把握するとともに、被爆体験などを後世に語り継ぐことを目的として実施したものである。

この調査は、生存者に関する調査及び被爆体験に関する調査で構成されるが、本調査報告はこのうち生存者に関する調査結果について取りまとめたものである。

生存者に関する実態調査としては、昭和40年度、昭和50年度、昭和60年度及び平成7年度の調査に引き続くものである。

本調査報告の取りまとめにあたっては、生存被爆者の生活、健康面の各項目ごとに回答の集計結果を示すとともに、必要に応じては過去の実態調査及び国勢調査等との比較を行った。しかしながら、これらの比較は、それぞれの調査方法や対象集団の構成の違いなどから必ずしも厳密なものではないため、参考として理解すべきものであることに留意する必要がある。